

題材名『ひとふでクレヨン・カラフル絵のぐ』

(2時間)

【題材について】 ※ PR文「いろいろな形の線を考え、できた形を好きな色でぬろう」

- 水彩絵の具の使い方や、色のつくり方を確認し、形や色を考えながら絵にあらわす。
- 線の形や画面に合う色を自分で考え、表現の姿勢を育てる。
- 友だちの作品を見て、線の形の面白さや色の良さなどを感じ取る。

- 〔本時のめあて〕
- ◎ いろいろな形の線を考え、クレヨンを使って一筆書きでかく。
 - ◎ 水彩絵の具の使い方について確認する。
 - ◎ 友だちの作品を見て、線の形の面白さや色の良さを感じ合う。

本時の展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援
1 いろいろな形の線を考え、クレヨンを使って、一筆書きでかく。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 黒板や画用紙を使って、様々な線を一筆書きでかいて示す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 波のような線・とがった線・曲がった線・長い線・短い線をかく。 ・ いろいろな形の線があることに気づかせる。 ・ 一筆書きにこだわらず、何種類もの線をかいても良いことを知らせる。
2 できた形に水彩絵の具で色をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水彩絵の具の扱い方について示す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ パレットや筆洗いの使い方・筆の水の量や調節の仕方・混色の方法などを師範する。 ・ 好きな色や混色してつくった色、隣に塗った色と合う色を塗るように声をかける。
3 ミニ鑑賞会をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品を見る視点を与える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 線の種類や数、すてきだと思える色を見つけてみよう。 ・ おもしろい形を見つけてみよう。 ・ 自分の作品と違うところを見つけてみよう。 ○ お互いの作品の面白さや良さを感じ合う。

〔成果と課題〕・・・ヒット題材にするためには？

- ・ 絵の具の使い方を具体的に示すことで、理解が深まり、自分の好きな色をつくったり、混色したりして色づくりをすることができる。
- ・ 自由な線をかき、その線で囲まれた形を見つけ色をつけていくと、イメージが次々に広がっていた。
- ・ 乾かないうちに隣の形に着色し、色が混ざってしまうことが多かった。
- ・ 水彩絵の具セットや机の上やまわりにの片付けをきちんとさせることが難しかった。継続的に指導が必要と思う。

